

心理学統計法

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》齊藤 恵一 (ksaito@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

心理学の研究を行うにあたって、実験や調査で得られたデータの解析を行うことは必須である。この講義では、心理学で多用される統計的データ分析法のうち基本的なものについて理解し、論文の統計的記述を理解できるようになると共に、それらを用いて実際に分析が行えるようになることが目標である。

【学修目標】

- 心理学で用いる統計手法について概説できるようになる。
- 統計に関する基礎的な内容について理解し、データを用いて実証的に考えることができるようになる。
- 記述統計の手法を用いてデータを処理できるようになる。
- 推測統計のもとになる考え方を理解する。
- 推測統計の手法を用いて統計的仮説検定や区間推定を行えるようになる。
- 効果量・信頼区間や検定力について理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。